

編集後記

2012年夏、ロンドンオリンピックで日本選手団は史上最高となる38個のメダルを獲得した。なでしこJAPANの最後まで決して諦めないプレー、体操競技内村選手の華麗な演技、3大会連続の金メダルを獲得したレスリング吉田選手の成長し続ける姿、トップアスリートの勇姿は日本に勇気と希望をもたらしたであろう。

現代社会はめまぐるしい速度で移り変わり、様々な面で利便性を求めるようになった結果、人と人をつなぐツールさえもメールなどの電子メディアになり、生の会話なしに成立する社会になってしまった。2011年に東日本大震災が起きた時、私たちは改めて、「絆」や「つながり」というものを意識しただろう。社会の進歩によって豊かになり、誰もが幸せになれると信じ経済成長を突き進めてきたが、その代償が、新たな問題となって私たちが苦しめている。

スポーツは「する」ことだけでなく、「関わる」「観る」ことで得られるものも多く存在する。スポーツは人生の縮図である。スポーツを「する」ことで、喜びや悲しみ、楽しさや苦しさを感じ、それらを乗り越える力を育むことができる。「関わる」「観る」ことで、仲間とスポーツを共有し、何かを成し遂げることの素晴らしさ、そして「つながり」を感じることができる。前述した、トップアスリートの勇姿に心が動かされたことがまさにそれである。

現代社会を考える上で、私たちが直面している問題に「スポーツ」は大きな役割を果たすのではないか、日本で唯一のスポーツの名のつく大学として、本スポーツ開発・支援センターができることを今後も発信していきたい。

びわこ成蹊スポーツ大学 スポーツ開発・支援センター
(菅井京子, 板金立樹, 和氣生也)

びわこ成蹊スポーツ大学 スポーツ開発・支援センター構成員

松田 保	スポーツ開発・支援センター	センター長、競技スポーツ学科	教授
新宅 幸憲	スポーツ開発・支援センター	副センター長、生涯スポーツ学科	教授
菅井 京子	生涯スポーツ学科		准教授
谷川 尚己	生涯スポーツ学科		准教授
藤松 典子	競技スポーツ学科		准教授
佐々木 直基	競技スポーツ学科		講師
南島 永衣子	生涯スポーツ学科		講師
松山 尚道	生涯スポーツ学科		助教
中村 和子		総務課長	
松井 茂孝	スポーツ開発・支援センター	事務課	課長
本郷 宏樹	スポーツ開発・支援センター	事務課	
板金 立樹	スポーツ開発・支援センター	事務課	
岩井 雄史	スポーツ開発・支援センター	事務課・トレーニングルーム担当	
和氣 生也	スポーツ開発・支援センター	事務課・アクアセンター担当	
久保 幸平	スポーツ開発・支援センター		研修員
樋口 由佳	スポーツ開発・支援センター		研修員
田中 秀忠	スポーツ開発・支援センター		研修員

びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ開発・支援センター年報第9巻

2013年 3月22日 印刷

2013年 3月28日 発行

発行・編集 びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ開発・支援センター
〒520-0503 滋賀県大津市北比良1204
TEL (077)596-8446 FAX (077)596-8447

印刷所 株式会社 同朋舎